

2010 年 1 月 1 日～2026 年 3 月 31 日までに東京都健康長寿医療センターにて
筋萎縮性側索硬化症と診断された方

2010 年 1 月 1 日～2026 年 3 月 31 日までに「ポジトロン CT による健常人脳
機能の複合的評価およびその加齢による変化の研究」にご参加された方

1. 課題名

筋萎縮性側索硬化症における voxel based morphometry：後方視的横断研究

2. 研究目的・方法

筋萎縮性側索硬化症 (amyotrophic lateral sclerosis: ALS) は予後不良な神経変性疾患です。多彩な初発症状、病型が知られ、初期診断は必ずしも容易ではありません。ALS に特徴的な MRI 所見の報告は散見されていますが、日常診療では特異的所見が得られることはむしろ少ないと言えます。ALS の診断が困難である理由は、複数の表現型が存在するのにもかかわらず、その個別の診断の客観的バイオマーカーが得られていないことにあると考えます。今回、ALS の病態や多様な病型に対応する神経変性を日常診療の画像収集から可視化することを目的とし、ALS 患者さまの画像と、健康な方の画像を解析することで、新知見が得られることが期待されます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

皆様のカルテ情報および研究でえられたデータから、下記の情報を入手させていただきます。

- (1) 背景情報（性別、年齢、既往歴・合併症、生理学的検査所見）
- (2) MRI 画像

4. 外部への試料・情報の提供

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。
その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの画像データおよび背景情報（性別、年齢、既往歴・合併症、生理学的検査所見）は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した画像データおよび背景情報 を結びつける情報は、本研究の研究代表者 張 申逸 が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必

要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

5. 研究組織

研究代表者（責任者）

東京都健康長寿医療センター 放射線診断科 張 申逸

研究分担者

東京都健康長寿医療センター 放射線診断科 徳丸 阿耶

東京都健康長寿医療センター 放射線診断科 鈴木 文夫

東京都健康長寿医療センター 脳神経内科 東原 真奈

東京都健康長寿医療センター 神経画像研究チーム 石井 賢二

共同研究機関（研究責任者）

岩手医科大学 医歯薬総合研究所 山下 典生

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

東京都健康長寿医療センター 放射線診断科

張 申逸

東京都板橋区栄町 35 番 2 号

TEL：03-3964-1141

E-mail：shinichi_cho@tmghig.jp